

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月2日 (2015.4.2)

【公開番号】特開2013-208410(P2013-208410A)

【公開日】平成25年10月10日 (2013.10.10)

【年通号数】公開・登録公報2013-056

【出願番号】特願2012-82514(P2012-82514)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/511 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/472 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/18 3 1 0 Z

A 4 1 B 13/02 E

A 6 1 F 13/18 B

【手続補正書】

【提出日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 1 6】

【表 1】

表 1

基	無機性値	有機性値
—COOH	1 5 0	0
—OH	1 0 0	0
—O—CO—O—	8 0	0
—CO—	6 5	0
—COOR	6 0	0
—O—	2 0	0
三重結合	3	0
二重結合	2	0
CH ₂	0	2 0
i s o分岐	0	— 1 0
t e r t分岐	0	— 2 0
軽金属（塩）	≥ 5 0 0	0
重金属（塩）、アミン、NH ₃ 塩	≥ 4 0 0	0

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 2 5 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0254】

【表2-2】

表2 (続き)

No.	血液改質剤		10B	融点 (°C)	水溶解度 (g)	重量平均 分子量	リウエット率 (%)	吸収体移行速度 (秒)	トッブシートの 白さ
	種	商品名							
2-24	(E ₁)	ユニオールPB500	0.44	<45	<0.05	500	4.5	4	○
2-25		ユニオールPB700	0.49	-5	<0.05	700	2.8	5	○
2-26		ユニオールPB1000R	0.40	<45	<0.05	1,000	4.0	4	○
2-27	(E ₂)	ウィルブライトc p 9	0.21	35	<0.05	1,150	1.4	3	○
2-28	(E ₃)	ユニループMS-70K	0.30	<-10	<0.05	1,140	6.7	3	○
2-29	(E ₅)	ユニループ5TP-300KB	0.39	<45	<0.05	4,130	2.0	6	○
2-30		ユニオールTG-3000	0.42	<45	<0.05	3,000	0.8	6	○
2-31		ユニオールTG-4000	0.40	<45	<0.05	4,000	2.0	6	○
2-32	(F ₁)	パールリーム6	0.00	-5	<0.05	330	6.0	8	◎
2-33		NA50	0.18	52	<0.05	880	15.5	60	×
2-34		(カプリル酸／カプリン酸) モノグリセリド	1.15	<45	20<	220	4.0	4	×
2-35		90-L2ラウリン酸モノグリセリド	0.87	58	20<		6.2	7	×
2-36		クエン酸イソプロピル	1.56	<45	20<	230	12.2	5	○
2-37		リンゴ酸ジイソステアリル	0.28	<45	20<	640	5.5	8	△
2-38		ユニオールD-400	0.76	<45	0.05<	400	8.7	40	×
2-39		PEG1500	0.78	40	20<	1,500-1,600	11.0	38	×
2-40		ノニオンS-6	0.44	37	0.05<	880	8.4	7	×
2-41		ウィルブライトs753	0.67	-5	20<	960	9.3	9	△
2-42		ユニオールTG-330	1.27	<45	0.05<	330	—	—	—
2-43		ユニオールTG-1000	0.61	<45	<0.05	1,000	14.2	7	○
2-44		ユニループDGP-700	0.91	<0	0.05<	700	8.0	10	△
2-45		ユニオックスHC60	0.46	33	0.05~ 1.00	3,570	14.6	46	×
2-46		ワセリン	0.00	55	<0.05		9.7	10	△
2-47		なし	—	—	—	—	22.7	60<	×

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0273

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0273】

[例6]

[血液改質剤を含む血液の表面張力]

血液改質剤を含む血液の表面張力を、協和界面科学社製接触角計 Drop Master 500を用い、ペンダントドロップ法にて測定した。表面張力は、ヒツジ脱繊維血に、所定の量の血液改質剤を添加し、十分振とうした後に測定した。

測定は、機器が自動で行うが、表面張力 は、以下の式により求められる（図14を参照）。

【手続補正4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体透過性シートと、液体不透過性シートと、前記液体透過性シート及び前記液体不透過性シートの間に設けられた吸収体とを備えた吸収性物品であって、

前記液体透過性シートのうち液体の供給を受ける液体被供給領域に、伸張可能な蛇腹部を有する伸張性領域と、前記伸張性領域を包囲する可撓性領域とが形成されており、

前記伸張性領域に液体透過孔が形成されており、前記可撓性領域に液体透過孔が形成されていない、前記吸収性物品。

【請求項2】

前記液体被供給領域に、伸張可能な蛇腹部を有する複数の伸張性領域が形成されており、前記可撓性領域が、各伸張性領域を包囲する、請求項1に記載の吸収性物品。

【請求項3】

前記可撓性領域が網目状に形成されており、各網目の内側に前記伸張性領域が形成されている、請求項2に記載の吸収性物品。

【請求項4】

前記可撓性領域が、前記吸収性物品の長手方向と交差する方向に延設され、略平行に並設された略直線状の第1の領域と、前記第1の領域と交差する方向に延設され、略平行に並設された略直線状の第2の領域とを有する、請求項3に記載の吸収性物品。

【請求項5】

前記蛇腹部が、前記吸収性物品の長手方向に延設され、前記吸収性物品の幅方向に並設され、前記幅方向に沿った断面が波状である山折り部及び谷折り部を有する、請求項1～4のいずれか1項に記載の吸収性物品。

【請求項6】

前記液体被供給領域の周縁部に圧搾溝が形成されている、請求項1～5のいずれか1項に記載の吸収性物品。

【請求項7】

前記液体透過性シートが、0.00～0.60のIOBと、45以下の融点と、25の水100gに対する、0.00～0.05gの水溶解度とを有する血液改質剤を含む、請求項1～6のいずれか1項に記載の吸収性物品。

【請求項8】

前記血液改質剤が、下記(i)～(iii)：

(i)炭化水素；

(ii) (ii-1)炭化水素部分と、(ii-2)前記炭化水素部分のC-C単結

合間に挿入された、カルボニル基（ $-\text{CO}-$ ）及びオキシ基（ $-\text{O}-$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる基とを有する化合物；及び

（ $i i i$ ） （ $i i i - 1$ ）炭化水素部分と、（ $i i i - 2$ ）前記炭化水素部分の $\text{C}-\text{C}$ 単結合間に挿入された、カルボニル基（ $-\text{CO}-$ ）及びオキシ基（ $-\text{O}-$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる基と、（ $i i i - 3$ ）前記炭化水素部分の水素原子を置換する、カルボキシル基（ $-\text{COOH}$ ）及びヒドロキシル基（ $-\text{OH}$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる基とを有する化合物；

並びにそれらの任意の組み合わせから成る群から選択され、

ここで、（ $i i$ ）又は（ $i i i$ ）の化合物において、オキシ基が2つ以上挿入されている場合には、各オキシ基は隣接していない、

請求項7に記載の吸収性物品。

【請求項9】

前記血液改質剤が、下記（ i' ）～（ $i i i'$ ）：

（ i' ）炭化水素；

（ $i i'$ ） （ $i i' - 1$ ）炭化水素部分と、（ $i i' - 2$ ）前記炭化水素部分の $\text{C}-\text{C}$ 単結合間に挿入された、カルボニル結合（ $-\text{CO}-$ ）、エステル結合（ $-\text{COO}-$ ）、カーボネート結合（ $-\text{OCOO}-$ ）、及びエーテル結合（ $-\text{O}-$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる結合とを有する化合物；及び

（ $i i i'$ ） （ $i i i' - 1$ ）炭化水素部分と、（ $i i i' - 2$ ）前記炭化水素部分の $\text{C}-\text{C}$ 単結合間に挿入された、カルボニル結合（ $-\text{CO}-$ ）、エステル結合（ $-\text{COO}-$ ）、カーボネート結合（ $-\text{OCOO}-$ ）、及びエーテル結合（ $-\text{O}-$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる結合と、（ $i i i' - 3$ ）前記炭化水素部分の水素原子を置換する、カルボキシル基（ $-\text{COOH}$ ）及びヒドロキシル基（ $-\text{OH}$ ）から成る群から選択される、一又は複数の、同一又は異なる基とを有する化合物；

並びにそれらの任意の組み合わせから成る群から選択され、

ここで、（ $i i'$ ）又は（ $i i i'$ ）の化合物において、2以上の同一又は異なる結合が挿入されている場合には、各結合は隣接していない、

請求項7又は8に記載の吸収性物品。

【請求項10】

前記血液改質剤が、下記（A）～（F）：

（A） （A1）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する2～4個のヒドロキシル基とを有する化合物と、（A2）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する1個のカルボキシル基とを有する化合物とのエステル；

（B） （B1）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する2～4個のヒドロキシル基とを有する化合物と、（B2）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する1個のヒドロキシル基とを有する化合物とのエーテル；

（C） （C1）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する、2～4個のカルボキシル基を含むカルボン酸、ヒドロキシ酸、アルコキシ酸又はオキソ酸と、（C2）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の水素原子を置換する1個のヒドロキシル基とを有する化合物とのエステル；

（D）鎖状炭化水素部分と、前記鎖状炭化水素部分の $\text{C}-\text{C}$ 単結合間に挿入された、エーテル結合（ $-\text{O}-$ ）、カルボニル結合（ $-\text{CO}-$ ）、エステル結合（ $-\text{COO}-$ ）、及びカーボネート結合（ $-\text{OCOO}-$ ）から成る群から選択されるいずれか1つの結合とを有する化合物；

（E）ポリオキシ C_{2-6} アルキレングリコール、又はそのアルキルエステル若しくはアルキルエーテル；及び

（F）鎖状炭化水素；

並びにそれらの任意の組み合わせから成る群から選択される、請求項7～9のいずれか1項に記載の吸収性物品。

【請求項11】

前記血液改質剤が、(a₁)鎖状炭化水素テトラオールと少なくとも1の脂肪酸とのエステル、(a₂)鎖状炭化水素トリオールと少なくとも1の脂肪酸とのエステル、(a₃)鎖状炭化水素ジオールと少なくとも1の脂肪酸とのエステル、(b₁)鎖状炭化水素テトラオールと少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエーテル、(b₂)鎖状炭化水素トリオールと少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエーテル、(b₃)鎖状炭化水素ジオールと少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエーテル、(c₁)4個のカルボキシル基を有する鎖状炭化水素テトラカルボン酸、ヒドロキシ酸、アルコキシ酸又はオキソ酸と、少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエステル、(c₂)3個のカルボキシル基を有する鎖状炭化水素トリカルボン酸、ヒドロキシ酸、アルコキシ酸又はオキソ酸と、少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエステル、(c₃)2個のカルボキシル基を有する鎖状炭化水素ジカルボン酸、ヒドロキシ酸、アルコキシ酸又はオキソ酸と、少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエステル、(d₁)脂肪族1価アルコールと脂肪族1価アルコールとのエーテル、(d₂)ジアルキルケトン、(d₃)脂肪酸と脂肪族1価アルコールとのエステル、(d₄)ジアルキルカーボネート、(e₁)ポリオキシC₂-₆アルキレングリコール、(e₂)ポリオキシC₂-₆アルキレングリコールと少なくとも1の脂肪酸とのエステル、(e₃)ポリオキシC₂-₆アルキレングリコールと少なくとも1の脂肪族1価アルコールとのエーテル、(e₄)ポリオキシC₂-₆アルキレングリコールと、鎖状炭化水素テトラカルボン酸、鎖状炭化水素トリカルボン酸、又は鎖状炭化水素ジカルボン酸とのエステル、(e₅)ポリオキシC₂-₆アルキレングリコールと、鎖状炭化水素テトラオール、鎖状炭化水素トリオール、又は鎖状炭化水素ジオールとのエーテル、及び(f₁)鎖状アルカン、並びにそれらの任意の組み合わせから成る群から選択される、請求項7~10のいずれか1項に記載の吸収性物品。